



第1180号
2010年10月10日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇10月の代祷・信施奉献先
▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(10・17)▽社会事業の日(特定25・10・24)

▽韓国併合100年「和解と平和の旅」 11月12日(金)〜15日(月)、参加者募集中(10月12日申込み締切)。小紙10月3日号【クローズアップ】59参照。管区正義と平和委員会主催。申込方法などは各教会へ配布の案内参照。
▽10月銀座朝拝会 12日・26日(第2・4火曜) 7時半、喫茶室ルノアール・ニュー銀座。お話し未定。照会☎042(796)1498・同世話人。

今週・来週の予定
10月10日~23日

- 10(日) 聖霊降臨後第20主日
- 12(火) 銀座朝拝会
常置委員会
委員長連絡会:第3回
- 13(水) 財政委員会
- 14(木) 信仰と生活委員会
- 15(金) 外濠G牧師協議会
- 17(日) 聖霊降臨後第21主日
- 19(火) 多摩G牧師協議会
礼拝音楽委員会
- 20(水) 教役者レクイエム
- 21(木) 城南G牧師協議会

*2010フェスティバル
説教特別号を本日発行
(広報委員会)

▽10月西新の会 12日(火)
19時半・聖餐式(高橋頭司祭)
26日(火)10時半・聖書の学び(加藤俊彦司祭)。井草地域区民センター。照会☎03(3951)5010・目白聖公会。
◆とこしえの平安
9月21日 田中 彰(45) 聖愛
▽10月17日 聖アグネス(10時) 聖愛
④フェイスタオル
①自動車スペアキー②口紅③扇子
▽フェスティバルでの落とし物
お問い合わせは教区事務所まで。

▽14時、聖アンデレ・聖テモテ(11時半〜14時半)、八王子(11時45分〜14時・幼稚園と合同)、聖ペテロ(12時〜14時半)、諸聖徒(12時〜15時)
▽19日・22日 聖マリア(10時〜16時・ガレージセール)
▽フェスティバルでの落とし物

「普通の女の子に戻ります」と言って解散したアイドルがいました。超売れっ子の有名人となり、いつしか自分自身ではない「〇ちゃん」でいることに耐え切れなくなったのでしよう。「あるがままのわたし」に出会えることは、心の大切な命綱なのだと思います。

「わたしがわたしでなくなる
とき
わたしをとりもどそうと
わたしからわたしがはなれてゆく。
わたしとわたしが結びついて
いるとき
立っていられる、歩き出している
わたしがいることを
わたしは知らないでいられる。」

《み手のなかで》
「あるがままのわたし」
を呼び求める神

光 崎 宮 祭 司

聖職者たちはどうでしょう?
素の「わたし」と、聖職としての「わたし」が結び付いているのでしょうか。しばしば、自ら説教で語ったことと、自分の生活が不一致になってしまうことがあります。できる限り、本音と建前ではなく、本音と正直さのみで、無垢に生きられる道でありたいと願います。「裸であっても恥ずかしがりたくない」「創世記2・25)楽園の人でありたい」と思っています。
けれども、多かれ少なかれ、隠したい部分があります。神様にも言えないこともあるでしょう。そんな闇の部分もひっそりめぐり、神様は「あるがままのわたし」を呼び求め、み赦しの中で用いてくださっているのだと信じるしかありません。み赦しの中にいる自分と仲間に出会うとき、神様の救いのまばゆい光を感じます。(清瀬聖母教会牧師)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

◇人事

司祭 李 民洙 貧困問題を考
えるプロジェクトチーム・リ
ーダー任命(8月5日付、任
期・12年7月31日)
司祭 高橋 顕 練馬聖ガブリ
エル教会管理牧師解任(8月
28日付)
司祭 卓 志雄 練馬聖ガブリ
エル教会副牧師解任(8月28
日付)

練馬聖ガブリエル教会 牧師
任命(8月29日付)

正義と平和協議会

運営委員会報告(9月24日)

*管区「韓国併合100年和解
と平和の旅」(11月12日～15日)
関連について協議。東京教区参
加者への補助を協議・決定。
*11年11月沖縄で開催される
「聖公会世界アジア大会」の準備
について意見交換。

公 示
日本聖公会東京教区第113
(臨時)教区会を下記のと
うに召集します。

日本聖公会東京教区
教区会議長 管理主教
主教ゼルバベル廣田勝一
記

日時：2010年11月3日(水・休)
午前9時から午後5時まで
場所：開会聖餐式

聖アンデレ主教座聖堂
議場
聖アンデレ主教座聖堂
東京都港区芝公園
3-6-18

議題：日本聖公会東京教区
主教選出の件

書記を次のように任命する。
司祭ニコラス中川 英樹 治上
司祭バルナバ菅原 以上

*「貧困問題を考えるプロジェクト」委員候補者リストを承認。
*正義と平和協議会は11年1月8日か22日を予定して調整。
◇秋の1日、フェスティバル
9月20日、連日の猛暑を忘れさせる曇り空の元、立教女学院で今年の教区の祭典が開催された。植田仁太郎教区主教の在任中最後となる聖餐式は、聖マリア礼拝堂に約800人が参集し説教に植松誠北海道教区主教を迎えて行われた。午後は出店・出展の様々な食べ物や手芸品などが並ぶ傍らで旧交を温める人々の賑わい。一方ステージでは9団体の熱演で観客を楽しませた。余韻を残しながら、植田主教のご挨拶、植松主教のお祈りと植田主教の祝祷で閉会した。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】61
学びのデイキャンプ

『裸足の宣教』参加報告

8月28日、暑い暑い夏の日、聖公会神学院に30名を超える参加者、スタッフが集まり、信仰と生活委員会主催による、学びのデイキャンプ『裸足の宣教』が開催されました。

昨年の日本聖公会宣教150周年記念聖餐式での、ローワン・ウィリアムズ カンタベリ―大主教の説教「『裸足の宣教の継続を』」を読み深め、『裸足の宣教とは?そしてそれを継続していく為に我々一人ひとりが考え、行動していくには?』ということを考えるきっかけになれば、等の思いのもと開催されました。

午前中は、お祈り、聖歌に始まり、いよいよ本編へ。順番に説教全文を朗読し、次に内容の理解を深める上で必要な知識の紹介と質疑応答の時間がとられました。午後は、いくつかの設問を切り口として、グループに分かれて各々の考え、思いを発言しあいました。設問により、「『裸足の宣教の継続を』』というところが、自分自身の課題として考えさせられました。様々な年代の、様々な考えを持ったメンバーにより、『裸足である事とはどのようなことか』、『それぞれにとって宣教とは』、『原文でしっかりと読み直したい』、『これから教会、日本聖公会はどうなっていくのか』、『質素ってどういうこと』等々、様々な意見が交わさ

れ、あっという間にタイムオーバー。皆さんまだまだ話し足りない、という雰囲気もありつつ…。私はと言えば、自分の課題として考えると、難しく、はじめは言葉に出来ず、黙って様子を伺ってしまいました。しかし、そこは日々の生活の中へ持ち帰り、おりによって触れる事で、理解を深める為の種を頂いたと感じています。

自分なりに日々の生活で考え、実行してみようとし、その難しさ、厳しさを感じています。この経験によって、今回のお説教にかかわらず、日々読まれている聖書や、教会での説教などへの向き合い方を考えさせられています。

信仰と生活委員 太田信三